

令和4年度 国語科 第I学年 年間指導計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

学期	月	単元名 (教材名) (配当時数)	学習活動・内容	評価の主な観点			評価の観点規準	評価のための判断材料
				主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能		
1 学期	4月	言葉に出会うために(7) ・朝のリラ ・野原はうた ・声を届ける/書き留める/言葉を調べる ・続けてみよう 書写 楷書(2)	・表現の特徴について、自分の考えをもつ。 ・日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめる。 ・情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモに取る。 ・点画の描き方と字形について考える。	○	○	○	・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができる。 ・本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。	
	5月	学びをひらく/新しい視点で(25) ・シンシユン ・聞く情報を的確に聞き取る ・季節のしおり 春 ・情報を整理して書く ・わかりやすく説明する ・漢字の組み立てと部首 ・ダイコンは大きな根？ ・ちよっと立ち止まって ・話の構成を工夫しよう ・好きなことをスピーチで紹介する ・文法への扉 書写 楷書(2)	・登場人物の心情を表す表現に着目して、作品の理解を深める。 ・話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴を理解する。 ・日常生活の中の話題について、30秒でスピーチをする。 ・段落の役割に着目して文章を読み、内容をまとめる。 ・文章と図との関連に注意しながら説明の文章を読む。 ・説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。 ・漢字の組み立てと部首を理解する。 ・季節を感じさせる言葉にふれ、言語感覚を養う。 ・楷書に調和する仮名について考える。	○	○	○	・全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すことができる。 ・集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成することができる。 ・音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めている。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	6月	情報社会を生きる/言葉に立ち止まる(15) ・情報を集めよう ・情報を読み取る ・情報を引用しよう ・詩の世界 ・比喩で広がる言葉の世界 ・言葉を集めよう 書写 楷書(2)	・文章を読んで、語句の意味を的確に捉え、筆者の文学の言葉に対する考え方に触れ、自分なりの考えをもつ。 ・観点を決めて多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした推薦文を書く。 ・段落や文、文節といった言葉のまとまりについて理解する。 ・配列に気を使いながら楷書を書く。	○		○	・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。 ・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもっている。 ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感	
	7月	読書生活を豊かに(11) ・本の中の中学生 ・私が選んだこの一冊 ・本と世界 ・季節のしおり 夏 楷書(1)	・作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・課題に沿って本を読み、伝えたい内容に合わせて引用して紹介する。 ・本から情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。 ・季節を感じさせる言葉にふれ、言語感覚を養う。 ・配列に気を使いながら楷書を書く。	○			・本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ることができる。	
2 学期	9月	心の動き/筋道を立てて(13) ・大人にならなかつた弟たちに…… ・星の花が降るころに ・聞き上手になろう ・項目を立てて書く ・「推敲」読み手の立場に立つ ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・話題や展開を捉えて話し合おう ・季節のしおり 秋 楷書(2)	・登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に注意して読み取る。 ・指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。 ・日常生活の中から課題を決め、伝える事柄・目的・相手に応じて、項目を立てて案内文を構成する。 ・記録の文章の構成に興味をもち、図表の役割に着目して、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ・漢字の音と訓について理解する。 ・季節を感じさせる言葉にふれ、言語感覚を養う。 ・配列を考えながら楷書で書きをす。	○	○	○	・文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことができる。 ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。 ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意している。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・書写作品
	10月	いにしへの心にもふれる(10) ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝 書写 行書(2)	・仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・和歌、随筆、俳句を音読し、古文特有のリズムを味わう。 ・「竹取物語」を通じて、古典の世界に触れる。 ・行書の基本的な書き方について考える。	○	○	○	・文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。 ・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解することができる。	
2 学期	11月	いにしへの心にもふれる(10) ・今に生きる言葉 書写 行書(2)	・故事成語の由来と意味を理解する。 ・行書の基本的な書き方を踏まえて書く。	○	○	○	・古典には様々な種類の作品があることを知っている。 ・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができる。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	12月	価値を見いだす(12) ・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう 書写 行書(2)	・パスセッションの方法と進め方を理解し、身近な課題について話題や議論の流れを捉えて話し合う。 ・文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。 ・点画の連続と省略について理解する。	○	○	○	・日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理することができる。 ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすることができる。	
3 学期	1月	読書に親しむ(12) ・考える人になろう ・君たちはどう生きるか ・たのしい制約 ・本の世界を広げよう ・季節のしおり 冬 書写 行書(2)	・中心となる文に着目しながら、文章の要旨を捉える。 ・作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように根拠を明確にして文章にまとめる。 ・観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。 ・点画の連続と省略を踏まえて行書を書く。	○	○	○	・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができる。 ・書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすることができる。	
	2月	自分を見つめる(16) ・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書く ・一年間の学びを振り返ろう ・さくらははなびら 書写 行書(1)	・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ・言葉の並べ方の工夫や比喩(たとえ)について理解する。 ・単語の分類について理解する。 ・点画の連続と省略を踏まえて行書を書く。	○	○	○	・文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げることができる。 ・比喩や反復などの表現の技法について理解することができる。 ・書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすることができる。	・授業への取り組み ・ノート ・作文、感想文 ・発表 ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・書写作品
	3月	学習を広げる(9) ・坊っちゃん ・語彙を豊かに ・幻の魚は生きていた 書写 行書(2)	・作品を通読し、登場人物の心情を把握する。 ・描写に注目して作者の意図を考える。 ・文章全体の構成を捉え、文章の要旨をまとめる。	○	○	○	・文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げることができる。	

※ 指導計画には言語事項の「書写」を含みます。  
 ※ 生徒の習得状況に合わせ、進度の変更や教材の追加を行うことがあります。  
 ※ 教科書と副教材を取り扱う割合は、おおよそ教科書2に対して副教材1の割合です。